

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません

令和4年度佐賀県クリーニング師試験問題

3 洗たく物の処理に関する知識

【注 意 事 項】

- 1 解答用紙に、「受験番号」と「氏名」を忘れずに記入してください。
- 2 机の上には受験票と筆記用具のみを置いてください。
- 3 携帯電話は、必ず電源を切るかマナーモードにし、机の上には置かないでください。
- 4 解答は、答案用紙にHB又はBの鉛筆（シャープペンシル）で記入してください。
- 5 1つの問題には、複数の選択肢があります。1つを選び解答してください。
- 6 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 7 試験中にトイレ、体の不調、筆記用具の落下など試験担当者に用事がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 8 試験問題については、各自持ち帰ってください。

試験問題

【洗濯物の処理に関する知識】

問1 衣服等の表示に関する次の文章について、() にあてはまる語句を下記の語群から選び、そのアルファベットを解答欄に記入しなさい。

衣服等に取り付けられている表示には、(1) に基づく繊維の組成、取扱い表示、(2) の他、難燃性などがある。繊維の組成は、原則として、指定用語による(3) とその(4) が表示されている。

繊維製品に行われている加工の中には、クリーニング処理によって問題を起こすものがあり、例としては、接着剤を使用したことによる(5) があるため、加工剤などは表示事項となっていないことに注意が必要である。

(語群)

- | | | | |
|-------------|-------------|-------|--------|
| A 景品表示法 | B 家庭用品品質表示法 | C 親水性 | D はっ水性 |
| E 素材すべての繊維名 | F 主素材の繊維名 | G 混用率 | H 伸縮率 |
| I 脱色・変色 | J 汚染または剥離 | | |

問2 次の(1)～(5)の語句を説明する文章として適切なものをA～Eから選び、解答欄に記入しなさい。

- (1) メタ珪酸ナトリウム
- (2) テトラクロロエチレン
- (3) 石油系溶剤
- (4) 次亜塩素酸ナトリウム(液状)
- (5) 過炭酸ナトリウム(粉末状)

- A. 短時間で洗浄、乾燥ができ、樹脂を溶かしやすく、不燃性の溶剤
- B. この漂白剤は、高温で急激な分解が起こり生地を損傷する
- C. 比重が軽くソフト洗いに適し、衣料乾燥に高温と時間を要する引火性の溶剤
- D. 汚れの酸性を中和し、硬水を軟化し、繊維や汚れを膨潤させ、洗濯液をアルカリ性に維持する働きがある
- E. この漂白剤は、含金染料染色物に使用不可である

問3 次のドライクリーニングに関する説明で、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) ドライクリーニングはランドリーに比べて風合い変化は大きく、衣類の形くずれ収縮脱色は小さい。
- (2) ドライクリーニング機のコールドタイプではフッ素系溶剤のみが使用されており、乾燥機が必要である。
- (3) ドライクリーニングでは汚れた溶剤をフィルターに通したり、蒸留器で汚れを除去して再使用する。
- (4) ドライクリーニングの洗浄は、ドライクリーニング溶剤のみで洗濯物を洗う。
- (5) ドライクリーニング機のホットタイプではテトラクロロエチレンが使用されており、石油系溶剤は使用されていない。

問4 次の文章について、①～③に入る語句の組み合わせとして、正しい組み合わせを一つ選び、そのアルファベットを解答欄に記入しなさい。

- (1) ウェットクリーニングは、素材へのダメージを抑えることを（ ① ）ため一般に洗浄性が（ ② ）、不溶性汚れは除去できない場合が（ ③ ）。
 - A. ①優先する ②高く ③少ない
 - B. ①優先する ②低く ③多い
 - C. ①目的としない ②高く ③多い
- (2) ウェットクリーニングを行った洗濯物の仕上げでは、（ ① ）によって発生した形状上の不都合を修正し、できるだけ、（ ② ）の状態に近い（ ③ ）に復元させなければならない。
 - A. ①洗浄 ②整形時 ③大きさや形、表面状態
 - B. ①乾燥 ②未着用時 ③寸法や風合い、シルエット
 - C. ①洗浄 ②未着用時 ③寸法やシルエット、表面状態
- (3) 透湿性防水加工のフィルムやコーティングは（ ① ）によって損傷しやすい。また、（ ② ）が併用されているためクリーニングにより性能が低下した場合は再度加工する必要がある。透湿性防水加工を施した製品の商標名の一つに（ ③ ）がある。
 - A. ①強い日光 ②親水加工 ③ベントイル
 - B. ①強い匂い ②プリント加工 ③アゼック
 - C. ①強い摩擦 ②はっ水加工 ③ゴアテックス
- (4) ベルベットは、（ ① ）織物のひとつである。構造上、（ ② ）しやすい性質

があり、着用の仕方によって（ ② ）している場合がある。また、（ ③ ）は禁物である。

- A. ①綾 ②しわが発生 ③水洗いやスチーム仕上げ
B. ①パイル ②毛倒れが発生 ③水洗いやアイロンがけ
C. ①朱子 ②毛倒れが発生 ③ドライクリーニングやアイロンがけ

- (5) 日本工業規格 J I S L 0 0 0 1 「繊維製品の取扱いに関する表示記号」のうち例を示す。

表示記号	表示記号の意味
	底面温度（ ① ）℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができる。
	洗濯処理後の（ ② ）処理ができる。 高温乾燥：排気温度の上限は最高80℃
	日陰での（ ③ ）乾燥がよい。

- A. ①200 ②タンブル乾燥 ③つり干し
B. ①110 ②自然乾燥 ③ぬれ平干し
C. ①110 ②タンブル乾燥 ③ぬれつり干し

問5 次の記述で正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- 洗濯物につく汚れのうち油性汚れは有機溶剤に溶けるが、水には溶けない。一方、不溶性汚れは一般に有機溶剤にも水にも溶けない固体の汚れである。
- 水洗いの分類のうち一般的に「ランドリー」は、せっけん、洗剤を用いて洗濯機で冷水洗いをするものを指し、「ウエットクリーニング」は、中性洗剤を用いて弱い機械力で温水洗いするものを指す。
- 「ミセル臨界濃度」とは、水の中で洗剤分子が親油基同士を内側にし、周囲を親水基で囲み安定化した洗剤ミセルができ始める洗剤濃度のことをいう。
- ドライクリーニングに使用するドライ溶剤の界面張力は、水に界面活性剤を添加したときの界面張力より高いので、ドライ溶剤は非常に浸透性が良い。
- ドライクリーニングでは、汚れの粘着原因である油分をドライ溶剤で溶かしすべての汚れを容易に除去できるため、水溶性の汚れを除去する必要はない。

解 答 用 紙

【洗濯物の処理に関する知識】

受験番号	氏 名

問1 (4点×5=20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
B	D	F	G	J

問2 (4点×5=20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
D	A	C	B	E

問3 (4点×5=20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
×	×	○	×	×

問4 (4点×5=20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
B	C	C	B	C

問5 (4点×5=20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
○	×	○	×	×